

令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 事業概要

No C	事業名 D	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)
1	南木曽町物価高騰対策支援金【低所得者世帯給付金】	①コロナ禍において物価高騰の負担が大きい低所得者世帯の負担軽減を図ることを目的に支援金として現金給付を行う。 ②低所得者への給付金 ③給付金総額:13,920千円 R5年度分の住民税非課税世帯 464世帯×3万円＝13,920千円 ④R5年度分の住民税均等割非課税世帯(464世帯)
2	南木曽町物価高騰対策支援金(事務費)	①コロナ禍において物価高騰の負担が大きい低所得者世帯の負担軽減を図ることを目的に支援金として現金給付を行う。 ②低所得者への給付金 ③給付金総額:13,920千円 R5年度分の住民税非課税世帯 464世帯×3万円＝13,920千円 ④R5年度分の住民税均等割非課税世帯(464世帯)
7	肥料・飼料・農薬高騰緊急対策補助事業	①コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の物価高騰により影響を受ける農家等に対して肥料高騰分、農薬高騰分及び配合飼料高騰分に係る費用の一部を補助金として給付することにより営農継続を支援する。 ②負担金補助金及び交付金、役務費:4,850千円 ③負担金補助金及び交付金:肥料(秋肥・春肥)及び農薬購入額の1割、対象農家320戸(申請率8割 320×0.8＝250戸) 畜産農家の飼養する牛10,000円/頭、山羊3,000円/頭、羊3,000円/頭、養殖業者30,000円/件 1戸当たり平均肥料経費70,000円×1割＝7,000円 7,000円×250戸＝1,750千円 1戸当たり平均農薬経費50,000円×1割＝5,000円 5,000円×250戸＝1,250千円 畜産保有頭数 牛10,000円×135頭＝1,350千円、山羊3,000円×80頭＝240千円、羊3,000円×40頭＝120千円 養殖業30,000×3件＝90千円 計4,800千円 役務費:郵送料@84円×郵送対象農家277戸(職員配達43戸)＝23,268円、返信用切手@84円×320戸＝26,880円 郵送料計50,148円≒50千円 ④町内で営農する農家及び畜産農家
8	福祉施設等物価高騰対策事業	①コロナ禍においてエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている福祉事業者に安定的な介護サービスの提供を支援するため、現に事業を運営する事業者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ②負担金補助金及び交付金:1,191千円 ③社会福祉施設数、定員数及び使用車両数とし、基準単価を乗じた額。 入所系【2施設 24名 2台】364,000円 施設1カ所:50,000円 定員1名あたり:10,000円 車両:1台あたり12,000円 通所系【4施設 75名 14台】743,000円 施設1カ所:50,000円 定員1名あたり:5,000円 車両:1台あたり12,000円 訪問系【2事業所 7台】84,000円 車両:1台あたり12,000円 ④対象者 町内に拠点を有し、現に地域の社会福祉に貢献する事業を運営する事業者 4法人
9	地域応援商品券給付事業(重点交付金分)	①コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている事業者と地域住民へ直接的な支援として、地域応援商品券・交通食事券(3,500円+1,500円＝5,000円分)を全町民(令和5年6月1日時点で当町に住民登録のある者)に配布する。(3,804冊)。 有効期限:7月下旬～9月末日 ②消耗品代、印刷代、郵送料、委託料、負担金補助及び交付金 21,141千円うち20,241千円 ③消耗品:郵送用封筒11.88円×1箱(1,000枚)＝11,880円 消耗品計11,880円 印刷代:商品券3,830冊 970,530円、取扱店一覧と説明書チラシ 1,700枚 78,320円 印刷代計 1,048,850円 役務費(郵送料):契約型ゆうパック 1,515通 694,233円 委託料:南木曽商工会、取扱店取り纏め@910円×4H×15日＝54,600円、商品券換金@910円×8H×70日＝509,600円、券集約事務@910円×4H×15日＝54,600円 消耗品、小切手25,000円 委託料計643,800×1.1＝708,180円 負担金補助金及び交付金(商品券換金費):概算払い商品券換金費:5,000円×3,804冊＝19,020,000円-精算戻入342,700円＝18,677,300円 負補交計 18,677,300円 合計 21,140,443円≒21,141千円うち20,241千円「重点交付金分を充当」 ④住民(商品券配布)、事業者(商品券代換金)
10	南木曽町交通事業者運行時間継続支援事業	①コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている町内タクシー事業者に対し、通常営業時間延長に係る運行経費相当分を手当てすることで、燃料費高騰による事業者負担の軽減を図りつつ旅客運行を行い、必要とされているタクシーの利用機会の確保と継続を図る。 PM7時営業終了→PM9時営業終了 ②負担金補助金及び交付金:378千円 ③1,250円(町標準賃金:運転手)+920円(町標準賃金:一般事務))×2H×1.1＝4,774円×79日(7/14～9/30)＝377,146円≒378千円 ④タクシー事業者

No	事業名	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)
C	D	
12	学校給食費負担軽減事業	①コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の物価が高騰する中、保護者の学校給食費への負担軽減を図るため、小中学校児童生徒1名あたり3万円を超えた額を補助する。(保護者会給食会計(私費会計)へ支出) ②負担金補助金及び交付金:11,910千円 ③小学校 40,000円×154名=6,160,000円/年 中学校 50,000円×115名=5,750,000円/年 合計 11,910千円 ④生活者(保護者)等 ※教職員分は支援対象外
13	地域応援商品券給付事業 (通常交付金分)	①コロナ禍においてエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている事業者と地域住民へ直接的な支援として、地域応援商品券・交通食事券(3,500円+1,500円=5,000円分)を全町民(令和5年6月1日時点で当町に住民登録のある者)に配布する。(3,804冊)。 有効期限:7月下旬～9月末日 ②消耗品代、印刷代、郵送料、委託料、負担金補助及び交付金 21,141千円うち900千円 ③消耗品:郵送用封筒11.88円×1箱(1,000枚)=11,880円 消耗品計11,880円 印刷代:商品券3,830冊 970,530円、取扱店一覧と説明書チラシ 1,700枚 78,320円 印刷代計 1,048,850円 役務費(郵送料):契約型ゆうパック 1,515通 694,233円 委託料:南木曽商工会、取扱店取り纏め@910円×4H×15日=54,600円、商品券換金@910円×8H×70日=509,600円、券集約事務@910円×4H×15日=54,600円 消耗品、小切手25,000円 委託料計643,800×1.1=708,180円 負担金補助金及び交付金(商品券換金費):概算払い商品券換金費:5,000円×3,804冊=19,020,000円-精算戻入342,700円=18,677,300円 負補交計 18,677,300円 合計 21,140,443円≠21,141千円うち900千円「通常交付金分を充当」 ④住民(商品券配布)、事業者(商品券代換金)